

「ふるさと伊達市

先祖ゆかりの地を助ける

東京伊達会 高橋 郁夫

ふるさと伊達市は、戊辰戦争後、仙台亘理から移住した人々が定住した地域である。

その関係から、未曾有の震災被災地の内、宮城県亘理町、山元町、柴田町(歴史友好都市)、福島県新地町とはこれまで姉妹都市として親しくお付き合いをしてきたところである。

この筆舌に尽くせぬ甚大な被害のあったことを知った伊達市は、即座に支援の神輿を上げました。

3月14日 「東北地方震災姉妹都市支援室」の設置

3月15日 先遣隊(3名)の派遣による調査

3月15日 支援物資(畳、毛布、タオル、ガソリン、紙オムツ、粉ミルク)大型トラック満載の搬送提供

3月16日 市の見舞金 1,800万円暫定決定

3月18日 「姉妹都市支援委員会」の発足 (期限 4月20日)

3月18日 見舞金募集のための施策実施

3月20日 先遣隊調査による支援員の派遣 第1陣、

3月28日 市長・市議会議長他への支援、激励視察の実施開始避難者の受け入れ準備減した「仙台いち」農家移住促進(家屋

肥料支援)

等など、これらの支援策を早く推し進めた。

支援員の派遣は第6次にわたり、途中からオール胆振支援隊員として他の市町職員の支援員も混成しているが、延べ人員は63名もの派遣であった。

市としての支援は4月27日の第6次隊帰着をもって終了とし、この後は北海道市長会、町村会等の枠組みの中で支援することになった。

姉妹都市支援委員会が呼びかけ、集まった見舞金は4月28日現在6,500件、約7,000万円になっていることが発表された。3月16日に現地入りした先遣隊からの第1報(抜粋)

・宮城亘理町、支援物資は体育館に搬送、町長に引き継ぐ。仙台南部の道路状況は、開いた口が塞がらない、足元がすくんでしまう本当に悲惨な状況。海から2km内陸に漁船が油はか

色々な臭いが立ちこめ、以前の姿に戻れるか。

「仙台いち」壊滅、米収穫見込み無し。漁業船全滅。荒浜地区立入禁止。・山元町、海岸に住宅多く壊滅的被害多く対

応職員少なく限界。・福島新地町地震壊滅は殆どないが、沿岸部は津波で壊滅。原発に近く住民移転予想あり。・宮

城柴田町、目立つ被害が無いため必要物資の搬入配布が見送られている。山崎、パン等の工場から援助あり。

創立15周年記念事業

ふるさと訪問ツアー行こう

東京別海、ふるさと会 事務局 白井 洋二

去る6月26日から29日まで、東京別海ふるさと会創立15周年記念事業として3泊4日の日程で「ふるさと訪問ツアー」を実施しました。

今回は、高松・塩江首都圏ふるさと会との共同開催という形で行われ、参加者は50名、うち塩江会から16名が参加しました。塩江会は地元高松市塩江町から高松市の塩江支所長

長尾 形進氏を含め、6名が参加されました。

6月26日(晴) 羽田から中標津空港へ。到着後、尾岱沼で開かれていたエビ祭りを見学し、大漁屋で新鮮なホタテと北海シマエビを試食し、別海町の味に舌鼓を打ちました。夜は中標津のトーヨーグランドホテルで別海町の水沼町長はじめ、町の幹部の方々が参加し、交流会を催しました。

6月27日(晴) 羅臼町をとおる知床峠から斜里(ウトロ)を経由して網走刑務所を見学し、昼食は刑務所内のレストランで監獄食を食べました。その後、美幌峠の眺望、神秘の摩周湖の景観を堪能し、一路別海町へ、途中6年前、塩江会とともに10周年記念植樹をした上春別の現場に立ち寄り、苗木の成長を観察、夕暮れ時に尾岱沼へ戻り、民宿「みさき」及び「シサイドホテル」に宿泊となりました。

6月28日(曇) 野付漁港での勉強会、直営店「海紋」でのお土産の買い物続いて360度の展望ができる中標津町「開陽台」へ、残念ながら濃霧のため展望できずじまい。昼食は野付半島ネイチャーセンターでとりました。午後はトドワラを散策し、帰りは町営の観光船で尾岱沼へ。その後、別海町で初めて設置された道の駅おだいとうに寄り、別海市街へ。牛乳屋さんやアイスクリーム屋さん等有名になった、べっかい乳業興社を見学した後、宿泊先である「郊楽苑」へ入りまし

6月29日(晴) 9時半から別海町役場へ表敬訪問。水沼町長に面会し、ミズナラの苗木の目録を贈呈し懇談を行いました。その後、再度、中標津町「開陽台」へ、快晴で風もあり、360度の大パノラマと地球が丸いということを実感していただきました。心は満足しても腹(おなか)はすくもの。同町のホテルマルエーで昼食。エビ、ホタテ、イクラ、かに等々地元産物が盛りだくさん、おかみさんからの差し入れもあり、またまた大満足。みんな元気に、午後2時5分の飛行機で帰路に着きました。



(よかった よかった)

銀座で創業30年、都心の不動産のことならお任せを!

不動産の売買・仲介・管理・ご相談承ります

株式会社 八千代商会

代表取締役 堀川 哲夫 (東京白老会・副会長)

社団法人 東京都宅地建物取引業協会会員 都知事免許 (8) 4 2 4 5 0

〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目11番7号 電話 03-3545-1466 (代) FAX 03-3546-3860

在宅での療養をささえます



介護用品、福祉用具の 販売とレンタルの店

(株)ホームケアセンターイワサキ

代表取締役 岩崎 悟 (東京新冠会幹事長)

〒204-0003 東京都清瀬市中里 3-1118-1

TEL:042-492-3522

介護保険 福祉用具貸与指定事務所